

経営比較分析表（平成30年度決算）

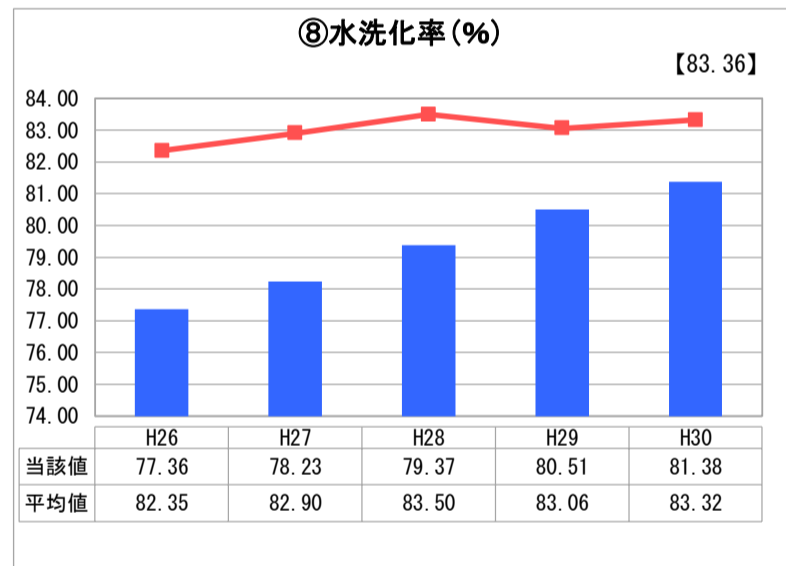
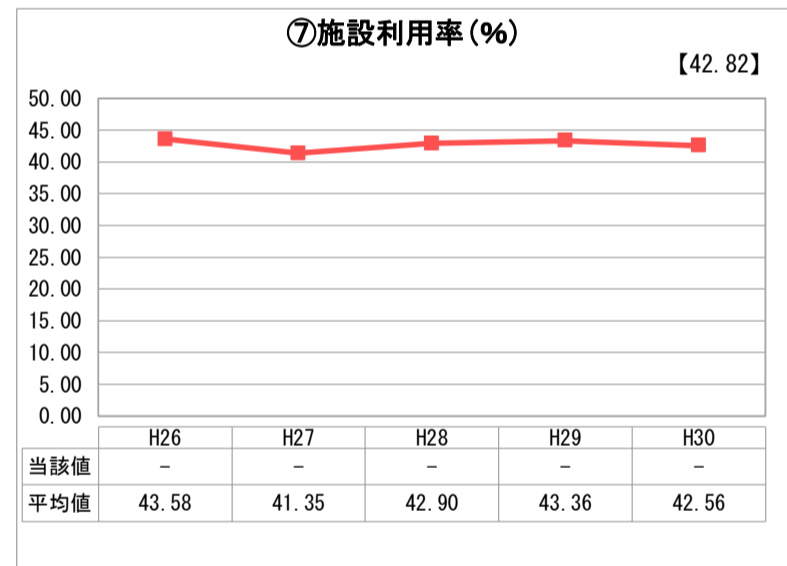
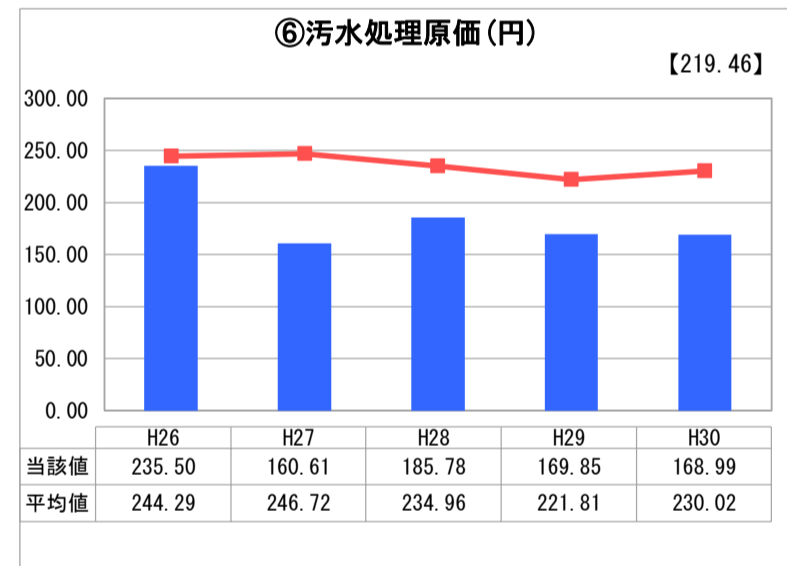
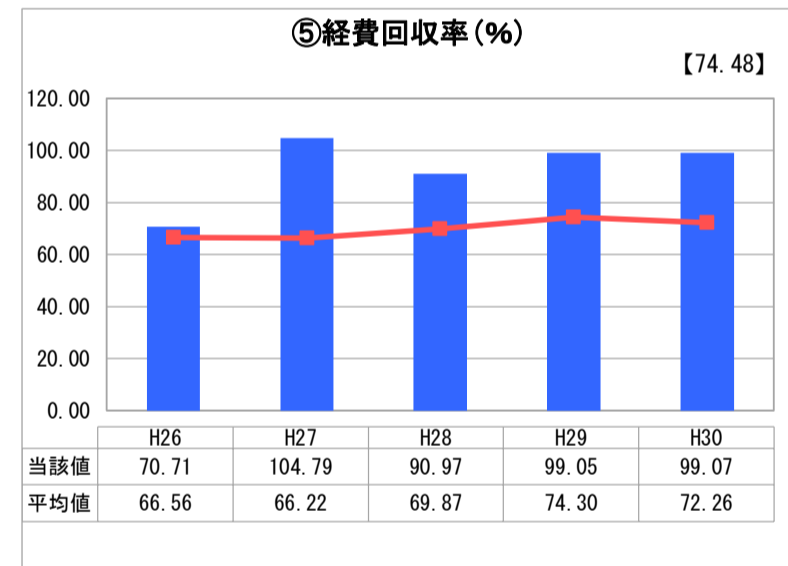
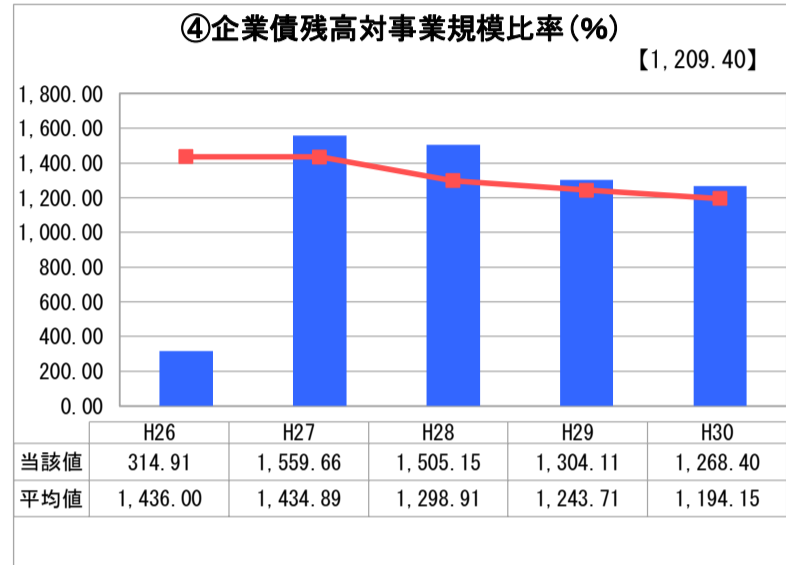
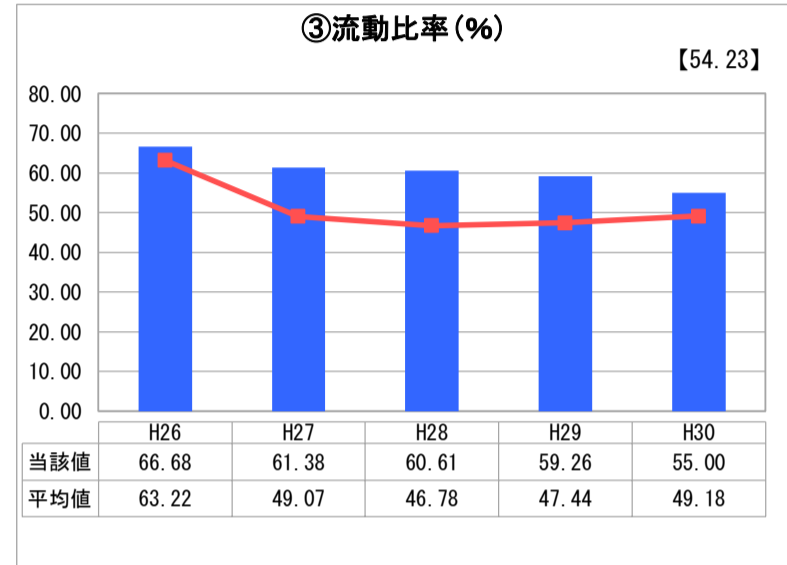
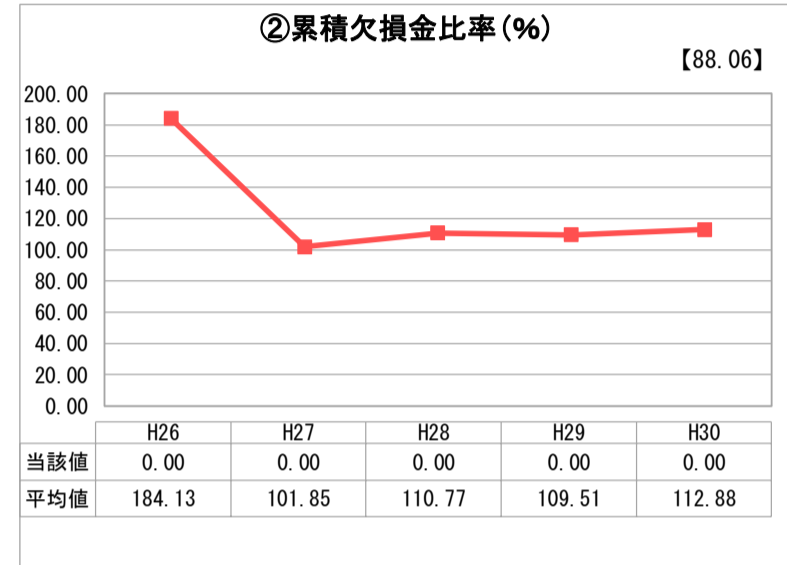
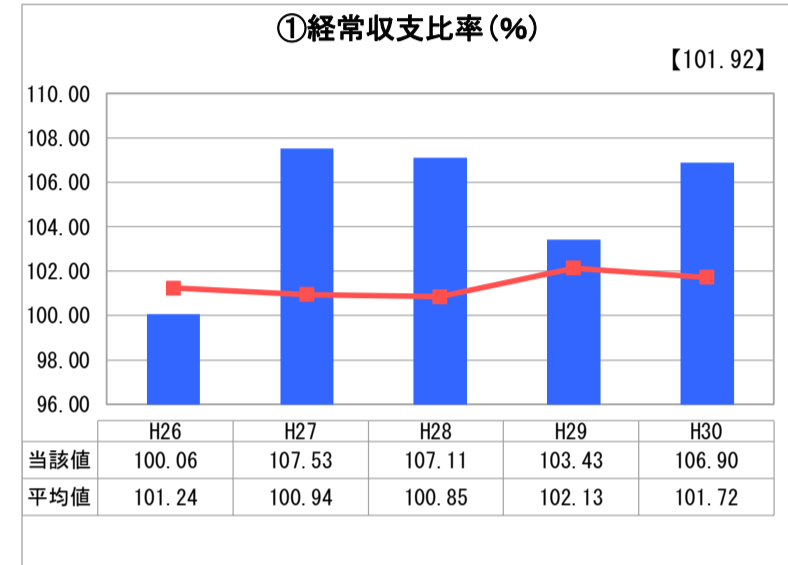
兵庫県 三木市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	41.94	11.14	86.79	2,592

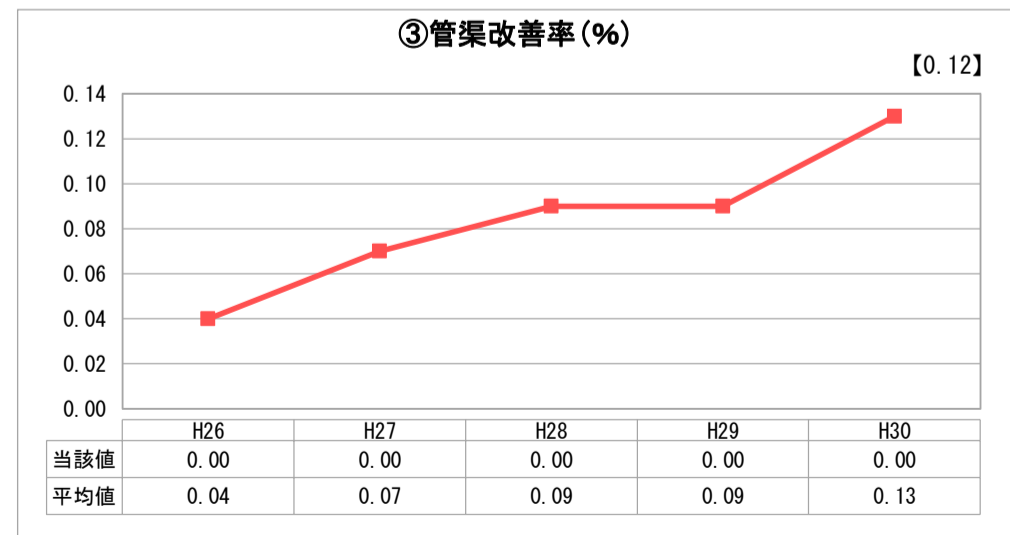
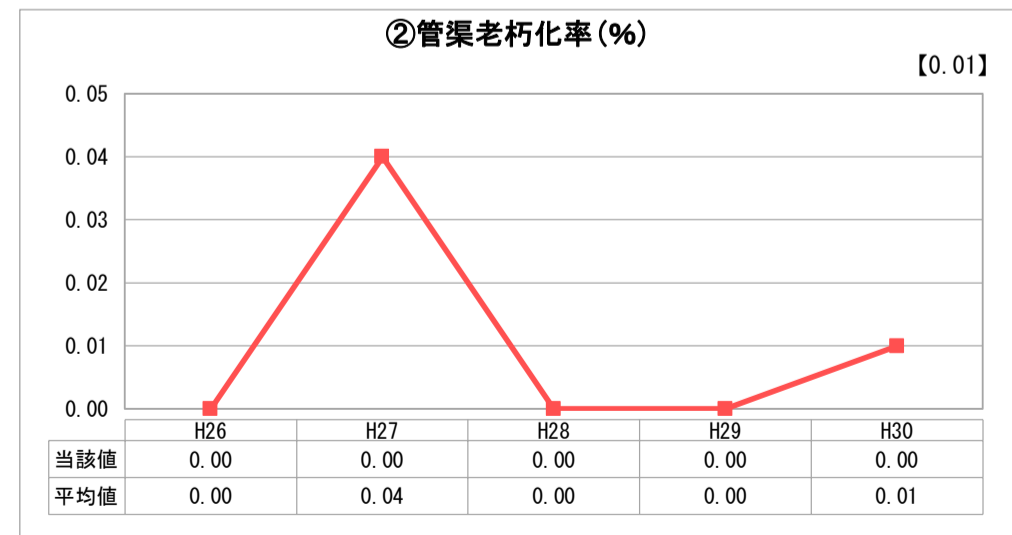
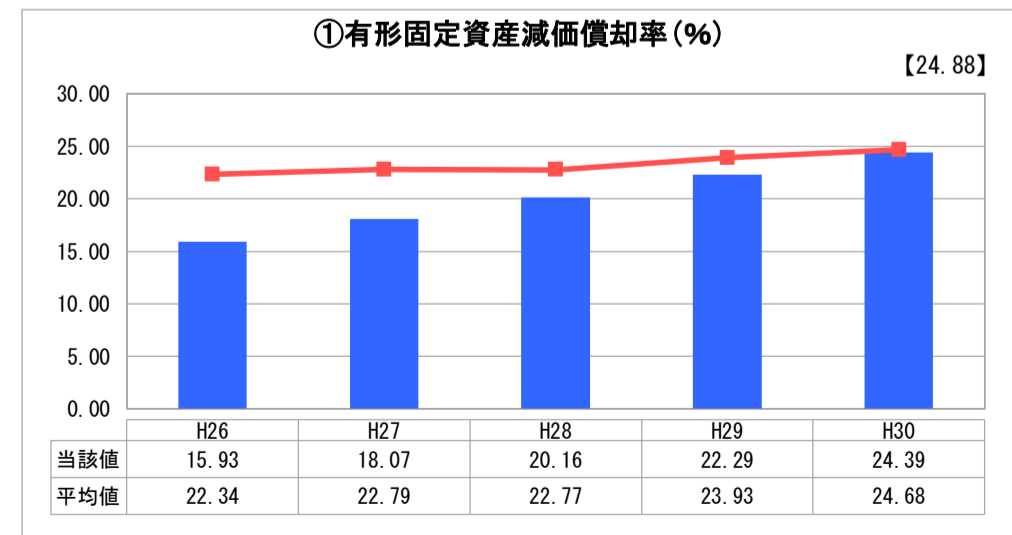
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
77,873	176.51	441.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,637	4.95	1,744.85

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を超えており類似団体平均を上回っているが、今後、使用料収入の減少が予想されるため、引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は、類似団体平均を上回っているものの100%未満であり、現金預金等が十分に確保されているとは言えない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、平成26年度までは類似団体平均を下回っていたが、平成27年度以降、新規借入により類似団体平均を上回る結果となった。
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回っているものの100%未満であるため、引き続き経営の効率化を進めていく必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均より下回っているが、今後の使用料収入の減少を見据え、更なる経営の効率化に努める必要がある。
- ⑦ 特定環境保全公共下水道では単独の処理施設を有していないため、施設利用率の該当は無い。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均より下回っているため、未整備地解消に向けた取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道については、下水道整備に着手してからの経過年数が浅いため、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を若干下回っており、また、管渠の老朽化も見受けられない。

全体総括

類似団体と比較すると、水洗化率が類似団体より低いため、未整備地解消に向け継続して取り組む必要がある。
また、流動比率が100%を下回っており現金預金等の資金が十分に確保されていないため、人口減少に伴う使用料収入減少等、将来見込まれる資金不足が生じないように、今後も引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。